



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月19日
東

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所
 コード番号 8014 URL <https://www.chori.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 定時株主総会開催予定日 2020年6月16日 配当支払開始予定日 2020年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	329,360	△7.6	8,219	2.1	8,685	0.3	6,101	8.4
2019年3月期	356,537	14.4	8,047	11.4	8,660	15.5	5,630	19.0

(注) 包括利益 2020年3月期 5,024百万円(17.7%) 2019年3月期 4,269百万円(△26.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	248.46	—	11.0	7.5	2.5
2019年3月期	229.28	—	10.7	7.3	2.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 339百万円 2019年3月期 326百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	114,400	57,279	50.0	2,328.79
2019年3月期	118,499	53,897	45.4	2,191.45

(参考) 自己資本 2020年3月期 57,185百万円 2019年3月期 53,813百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,857	8	△1,899	12,988
2019年3月期	3,196	△1,421	△4,350	12,042

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	26.00	—	34.00	60.00	1,473	26.2	2.8
2020年3月期	—	31.00	—	32.00	63.00	1,547	25.4	2.8
2021年3月期(予想)	—	28.00	—	29.00	57.00		30.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	200,000	△39.3	6,700	△18.5	7,000	△19.4	4,600	△24.6	187.33

（注）2021年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）等を早期適用することとしたため、上記の連結業績予想は当該基準を適用した後の金額となっております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	25,303,478株	2019年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	2020年3月期	747,620株	2019年3月期	747,117株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	24,556,156株	2019年3月期	24,555,978株

（参考）個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	147,665	△12.7	5,317	3.4	6,442	5.2	4,658	4.6
2019年3月期	169,190	2.5	5,140	2.3	6,125	2.9	4,452	6.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	189.72		—					
2019年3月期	181.33		—					

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	74,911	48,468	64.7	1,973.79
2019年3月期	77,464	45,895	59.2	1,868.98

（参考）自己資本 2020年3月期 48,468百万円 2019年3月期 45,895百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配当に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度の概要

当連結会計年度における経済情勢は、米中貿易摩擦に伴い貿易取引が弱含みで推移し、また、消費税増税等の影響を受け、個人消費が伸び悩み、全体的に力強さを欠きました。加えて、年度末にかけて新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的に拡大し、停滞感が強まりました。

このような状況下、当社グループは、2017年4月25日に発表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」の諸施策を推進してきました。第3四半期までは堅調な推移となったものの、第4四半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けました。当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、化学品事業の有機化学品分野の市況低迷等により前期比7.6%減の3,293億60百万円となりました。一方、利益面につきましては、繊維事業における海外素材分野の堅調な推移及び国内衣料分野の収益性の改善等により、営業利益は、前期比2.1%増の82億19百万円、経常利益は、前期比0.3%増の86億85百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比8.4%増の61億1百万円となりました。前連結会計年度に続き、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益は過去最高益を更新しました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	前期比 (%)
売上高	356,537	329,360	△27,176	△7.6
営業利益	8,047	8,219	172	2.1
経常利益	8,660	8,685	25	0.3
親会社株主に帰属する当期純利益	5,630	6,101	471	8.4

② 事業別の状況

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(繊維事業)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	前期比 (%)
売上高	120,240	114,520	△5,720	△4.8
経常利益	3,710	4,028	317	8.6

当セグメントにおきましては、国内消費マインドが回復せず国内市場全般が低調に推移したこと等により、売上高は、前期比4.8%減の1,145億20百万円となりましたが、海外素材分野が堅調に推移したこと、国内衣料分野の収益性の改善等により、セグメント利益（経常利益）は、前期比8.6%増の40億28百万円となりました。

(化学品事業)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	前期比 (%)
売上高	176,525	150,634	△25,891	△14.7
経常利益	3,890	3,515	△375	△9.6

当セグメントにおきましては、バルク商材の有機化学品分野の市況低迷等により、売上高は、前期比14.7%減の1,506億34百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前期比9.6%減の35億15百万円となりました。

(機械事業)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	前期比 (%)
売上高	59,696	64,133	4,436	7.4
経常利益	323	417	93	28.9

当セグメントにおきましては、車輛事業の中南米向け取引が堅調に推移したことに加え、欧州・アフリカ市場での市場開拓により、売上高は、前期比7.4%増の64億33百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前期比28.9%増の4億17百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、1,144億円となり、前連結会計年度末に比べ40億99百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が25億2百万円減少、商品及び製品が14億12百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、571億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億81百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が74億円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、572億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億81百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上により61億1百万円増加、配当金の支払により15億96百万円減少、その他有価証券評価差額金が7億31百万円減少、為替換算調整勘定が1億74百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9億46百万円増加し、当連結会計年度末には、129億88百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は28億57百万円（前期は31億96百万円の資金の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益92億90百万円、売上債権の減少額23億13百万円、たな卸資産の減少額12億80百万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額73億7百万円、法人税等の支払額29億73百万円によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の増加は8百万円（前期は14億21百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入16億34百万円、貸付けによる支出12億79百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は18億99百万円（前期は43億50百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額15億94百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、高機能・高専門性を基盤として、グローバルに進化・変化し続ける企業集団を実現し、更なる企業価値の増大を図って参ります。「連結経営基盤強化」、「次世代型ビジネスモデル創出」、「コーポレート・ガバナンス」、「コンプライアンス」、「人的基盤強化」の基本戦略を着実に推進しております。

当連結会計年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大は、国内外の事業環境に大きく影響を及ぼしており、その収束の時期も不透明な状況です。当社グループの事業は貿易取引が全売上高の70%を超え、国内外でその影響を大きく受けることが想定されています。

このような事業環境を踏まえ、次期の連結業績予想につきましては、次のとおりとします。

	2021年3月期（予想）	（参考）2020年3月期実績
売上高	2,000億円	3,293億円
営業利益	67億円	82億円
経常利益	70億円	86億円
親会社株主に帰属する当期純利益	46億円	61億円

上記予測を修正する必要がある場合には、速やかに公表致します。

※ 当社は2021年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）等を早期適用することとしたため、上記連結業績予想は当該基準を適用した後の金額となっております。

また、当該基準の適用により、売上高が減少しておりますが、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に影響はありません。

(5) 利益配当に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当の実施を行い、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当社の配当の決定機関につきましては、会社法第459条第1項の規定に基づき、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によることとしております。また、当期の配当額につきましては、事業発展のための投資資金の確保に留意しつつ、経営環境等を総合的に勘案し、連結配当性向25%以上を目処として決定致しました。この方針のもと、当期の期末配当金は、1株当たり32円の配当を行います。これにより、当期の1株当たりの年間配当金は、中間配当金31円と合せて63円となります。

次期の配当につきましては、本日（2020年5月19日）の取締役会にて、配当方針については親会社株主に帰属する当期純利益を基準とした配当性向30%以上に引き上げることを決議致しました。この方針のもと、次期の配当金につきましては、中間配当28円・期末配当29円の年間合計57円の配当予想としております。

詳細につきましては、本日（2020年5月19日）公表しました「2020年3月期の剰余金の配当及び2021年3月期からの配当方針の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,896	13,342
関係会社預け金	—	500
受取手形及び売掛金	66,537	64,034
商品及び製品	14,159	12,746
仕掛品	25	64
原材料及び貯蔵品	4	5
未着商品	936	1,006
その他	4,447	4,517
貸倒引当金	△10	△39
流動資産合計	98,997	96,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,967	1,055
減価償却累計額	△1,237	△650
建物及び構築物(純額)	729	405
機械装置及び運搬具	1,484	1,382
減価償却累計額	△1,068	△948
機械装置及び運搬具(純額)	415	433
工具、器具及び備品	693	672
減価償却累計額	△490	△476
工具、器具及び備品(純額)	203	195
建設仮勘定	—	225
土地	1,367	806
リース資産	124	576
減価償却累計額	△68	△266
リース資産(純額)	56	309
有形固定資産合計	2,772	2,376
無形固定資産		
のれん	1,956	781
その他	346	353
無形固定資産合計	2,303	1,135
投資その他の資産		
投資有価証券	11,011	9,913
長期貸付金	346	1,473
退職給付に係る資産	14	5
繰延税金資産	675	856
その他	2,848	2,881
貸倒引当金	△469	△420
投資その他の資産合計	14,426	14,710
固定資産合計	19,502	18,221
資産合計	118,499	114,400

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,635	45,235
短期借入金	1,937	1,843
未払法人税等	1,411	1,618
賞与引当金	872	819
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,752	4,522
流動負債合計	61,651	54,081
固定負債		
長期借入金	71	35
繰延税金負債	729	565
退職給付に係る負債	2,053	2,233
その他	97	205
固定負債合計	2,951	3,039
負債合計	64,602	57,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,753	1,753
利益剰余金	45,337	49,797
自己株式	△740	△741
株主資本合計	53,149	57,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773	42
繰延ヘッジ損益	249	148
為替換算調整勘定	△323	△497
退職給付に係る調整累計額	△35	△116
その他の包括利益累計額合計	664	△423
非支配株主持分	83	93
純資産合計	53,897	57,279
負債純資産合計	118,499	114,400

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	356,537	329,360
売上原価	327,951	301,050
売上総利益	28,585	28,310
販売費及び一般管理費	20,538	20,091
営業利益	8,047	8,219
営業外収益		
受取利息	114	202
受取配当金	199	202
持分法による投資利益	326	339
為替差益	89	—
債務勘定整理益	89	91
雑収入	256	179
営業外収益合計	1,076	1,015
営業外費用		
支払利息	102	95
手形売却損	249	227
売上割引	60	42
為替差損	—	93
雑支出	50	89
営業外費用合計	463	549
経常利益	8,660	8,685
特別利益		
固定資産売却益	2	777
投資有価証券売却益	10	11
特別利益合計	12	788
特別損失		
投資有価証券評価損	32	131
減損損失	—	32
固定資産処分損	15	11
投資有価証券売却損	15	4
その他	—	2
特別損失合計	63	183
税金等調整前当期純利益	8,609	9,290
法人税、住民税及び事業税	2,995	3,184
法人税等調整額	△23	△4
法人税等合計	2,972	3,179
当期純利益	5,637	6,110
非支配株主に帰属する当期純利益	7	9
親会社株主に帰属する当期純利益	5,630	6,101

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	5,637	6,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△868	△731
繰延ヘッジ損益	186	△101
為替換算調整勘定	△509	△106
退職給付に係る調整額	△4	△81
持分法適用会社に対する持分相当額	△172	△66
その他の包括利益合計	△1,367	△1,085
包括利益	4,269	5,024
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,262	5,013
非支配株主に係る包括利益	6	11

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,800	1,747	41,241	△744	49,044
当期変動額					
剰余金の配当			△1,522		△1,522
親会社株主に帰属する当期純利益			5,630		5,630
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		5		6	12
持分法の適用範囲の変動					—
その他			△12		△12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5	4,095	3	4,105
当期末残高	6,800	1,753	45,337	△740	53,149

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,642	63	357	△31	2,031	77	51,153
当期変動額							
剰余金の配当							△1,522
親会社株主に帰属する当期純利益							5,630
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							12
持分法の適用範囲の変動							—
その他							△12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△868	186	△680	△4	△1,367	6	△1,361
当期変動額合計	△868	186	△680	△4	△1,367	6	2,743
当期末残高	773	249	△323	△35	664	83	53,897

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,800	1,753	45,337	△740	53,149
当期変動額					
剰余金の配当			△1,596		△1,596
親会社株主に帰属する当期純利益			6,101		6,101
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
持分法の適用範囲の変動			△28		△28
その他			△16		△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,460	△0	4,459
当期末残高	6,800	1,753	49,797	△741	57,608

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	773	249	△323	△35	664	83	53,897
当期変動額							
剰余金の配当							△1,596
親会社株主に帰属する当期純利益							6,101
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							—
持分法の適用範囲の変動							△28
その他							△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△731	△101	△174	△81	△1,087	10	△1,077
当期変動額合計	△731	△101	△174	△81	△1,087	10	3,381
当期末残高	42	148	△497	△116	△423	93	57,279

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,609	9,290
減価償却費	361	529
減損損失	—	32
のれん償却額	1,241	1,175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50	△16
受取利息及び受取配当金	△313	△404
支払利息	102	95
為替差損益 (△は益)	△3	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△326	△339
固定資産売却損益 (△は益)	13	△765
投資有価証券売却損益 (△は益)	4	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	32	131
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,181	2,313
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△808	1,280
仕入債務の増減額 (△は減少)	△341	△7,307
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△101	△47
その他の資産の増減額 (△は増加)	461	△124
その他の負債の増減額 (△は減少)	42	△367
その他	76	△149
小計	5,811	5,487
利息及び配当金の受取額	370	439
利息の支払額	△102	△96
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,883	△2,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,196	2,857

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△196	△459
有形固定資産の売却による収入	3	1,634
無形固定資産の取得による支出	△143	△122
投資有価証券の取得による支出	△291	△72
投資有価証券の売却による収入	281	58
関係会社株式の取得による支出	△708	△10
出資金の売却による収入	—	36
関係会社出資金の払込による支出	△329	—
関係会社出資金の売却による収入	—	26
貸付けによる支出	△203	△1,279
貸付金の回収による収入	92	153
その他	73	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,421	8
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,263	△32
長期借入金の返済による支出	△54	△78
社債の償還による支出	△1,492	—
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△1,520	△1,594
その他	△17	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,350	△1,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△159	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,734	946
現金及び現金同等物の期首残高	14,776	12,042
現金及び現金同等物の期末残高	12,042	12,988

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業の種類別に部門を配置し、各部門は事業の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社は部門を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「繊維事業」、「化学品事業」及び「機械事業」の3つを報告セグメントとしております。

「繊維事業」は主に化・合繊、その他の天然繊維等の綿及び原糸並びに化・合繊、その他の天然繊維等の織物、編物及び製品並びに産業資材、「化学品事業」は主に有機化学品、無機化学品、精密化学品、医薬原料、食品・飼料添加剤及び天鈹産品及び潤滑油・燃料油添加物、「機械事業」は主に車輛、機械及び関連資材を取り扱っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	120,240	176,525	59,696	356,463	74	356,537	—	356,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	433	433	△433	—
計	120,240	176,525	59,696	356,463	507	356,970	△433	356,537
セグメント利益	3,710	3,890	323	7,925	32	7,958	702	8,660
セグメント資産	50,677	62,516	4,462	117,657	132	117,790	709	118,499
その他の項目								
減価償却費	194	135	1	331	0	331	—	331
のれんの償却額	23	1,218	—	1,241	—	1,241	—	1,241
持分法投資利益	0	326	—	326	—	326	—	326
持分法適用会社への 投資額	248	3,438	—	3,686	—	3,686	—	3,686
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	192	223	0	416	0	417	—	417

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額702百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。
4. セグメント資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産709百万円は、提出会社の繰延税金資産であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	114,520	150,634	64,133	329,287	72	329,360	—	329,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	451	451	△451	—
計	114,520	150,634	64,133	329,287	524	329,812	△451	329,360
セグメント利益	4,028	3,515	417	7,961	15	7,976	708	8,685
セグメント資産	52,178	55,888	5,356	113,423	135	113,558	841	114,400
その他の項目								
減価償却費	281	218	2	502	0	502	—	502
のれんの償却額	23	1,152	—	1,175	—	1,175	—	1,175
持分法投資利益 又は損失(△)	△80	419	—	339	—	339	—	339
持分法適用会社への 投資額	639	3,714	—	4,354	—	4,354	—	4,354
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	329	262	8	600	0	601	—	601

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額708百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。
4. セグメント資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産841百万円は、提出会社の繰延税金資産であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
188,278	50,830	117,429	356,537

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
2,547	154	70	2,772

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
165,850	45,647	117,861	329,360

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
1,821	375	179	2,376

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計			
減損損失	32	—	—	32	—	—	32

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計			
当期償却額	23	1,218	—	1,241	—	—	1,241
当期末残高	81	1,875	—	1,956	—	—	1,956

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計			
当期償却額	23	1,152	—	1,175	—	—	1,175
当期末残高	58	723	—	781	—	—	781

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,191.45円	2,328.79円
1株当たり当期純利益金額	229.28円	248.46円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,630	6,101
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,630	6,101
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,555	24,556

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	53,897	57,279
普通株式に係る純資産額(百万円)	53,813	57,185
差額の主な内訳(百万円) 非支配株主持分	83	93
普通株式の発行済株式数(千株)	25,303	25,303
普通株式の自己株式数(千株)	747	747
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	24,556	24,555

(重要な後発事象)

該当事項はありません。